

希望の船

We love BIWAKO

「みずうみに学んで世界の明日をひらく人」

滋賀県立びわ湖フローティングスクール
〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号
<https://uminoko.jp/>

令和3年度児童学習航海スタート

【所長 東 文三】



4月から1泊2日の航海を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度も昨年度と同様日帰りの1日航海となりました。全101回の児童学習航海と未乗船児童対象の「湖の子」体験航海1回、親子を対象とした「うみのこ」親子体験航海を2回、いずれも1日航海にて実施します。その児童学習航海が5月24日にスタートしました。

令和3年5月24日（月）、乗船する米原市立大原小学校、息長小学校、長浜市立長浜北小学校の校長先生、引率の先生、5年生児童に参加いただき、長浜港にて、令和3年度「湖の子」出航式を行いました。

滋賀県教育委員会福永教育長より「「うみのこ」に乗った子どもたちは、進んでびわ湖を守るために行動することや、物を大切に使うこと、友だちと協力することなど、たくさんのことを学び、伝えてきました。皆さんも、先輩たちが守り続けてきた思いをしっかりと受け継ぎ、感謝の気持ちを持って、学んでほしいと思います。」と激励の言葉がありました。続いて、代表児童が「私たちの住む町がびわ湖からはどのように見えているのか、しっかり目に焼き付けたいと思います。」と意気込みを話してくれました。1泊2日の航海がなくなったことは大変残念なことです。楽しみにしていた子どもたちの姿を見ると、航海を始められたことはとてもうれしく思います。

出航式終了後は、長浜港から保護者の方たちに見送られ、「うみのこ」は多景島、沖島に向かいました。乗船中は、びわ湖の水を調べたり、プランクトンや魚、湖底の泥や貝を観察したりしました。今年度は特に、乗船前に「調べてみたい。確かめてみたい。」と思ったことを大切に活動するようにしたいと考えています。また、昼食は、今年も「湖の子」カレーです。フローティングスクールが始まって以来の人気メニューで、この日もおいしそうに食べてくれました。14時35分頃には長浜港に帰港し、今年度初めての航海は終わりました。



昨年度課題であった学校間の交流については、活動室に6台、後部甲板に1台大型のモニター、多目的室に専用カメラを設置してもらい、リモートで交流することが可能になっています。部屋が離れていても、学校紹介をしたり、学習したことを発表し合ったりして、工夫して交流してもらえればと思います。

昨年度の感染症対策の工事に加えて、この3月のドック整備でも、換気できる窓を増やし、換気扇や外気取り入れ型のエアコン、洗面台の衝立を増設し対策を強化しました。密を避ける活動や消毒など万全の感染症対策をして航海をしてもらいます。今年度、全101回の航海が、乗船する子どもたちにとって、安全で、かけがえのない経験となるように全力を尽くしてまいります。ご支援よろしくお願ひします。